

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-033967

(43)Date of publication of application : 02.02.2000

(51)Int.Cl. B65D 71/02

(21)Application number : 11-201266

(71)Applicant : GOOSSENS BEAUVAIS

(22)Date of filing : 15.07.1999

(72)Inventor : BIENAIME PATRICK

(30)Priority

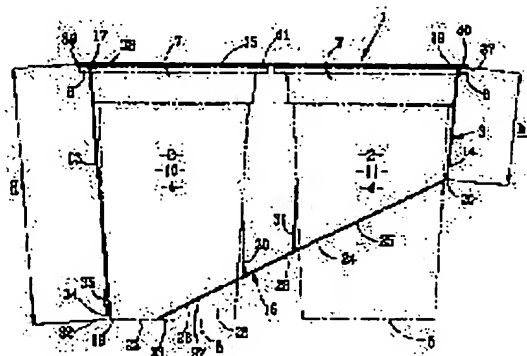
Priority number : 98 9809114 Priority date : 16.07.1998 Priority country : FR

(54) CASE TYPE PACKAGING BODY, LONG RAW SHEET FOR FORMING THE PACKAGING BODY, AND ASSEMBLY FORMED OF THE PACKAGING BODY FOR WRAPPING ARTICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a packaging body which can be applied to a package for yogurt pot or a compost pot and can make the dimension of a front face as large as possible and can decrease the area of a raw sheet used for a packaging body.

SOLUTION: This packaging body 3 comprises a front wall 13, a back wall 14, and a top end wall 15 and a back end wall 16 connecting a space between these front and back walls and the height H of the front wall is higher than the height h of the back wall and one 16 of the side walls has at least one inclined part 23 and at least one back opening part 24 for receiving an article close to the back wall.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-33967
(P2000-33967A)

(43) 公開日 平成12年2月2日(2000.2.2)

(51) Int.Cl.⁷
B 6 5 D 71/02

識別記号

F I
B 6 5 D 71/02

テーマコード(参考)

E

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平11-201266

(22) 出願日 平成11年7月15日(1999.7.15)

(31) 優先権主張番号 9 8 0 9 1 1 4

(32) 優先日 平成10年7月16日(1998.7.16)

(33) 優先権主張国 フランス (F R)

(71) 出願人 599099560

グーサン・ボベ

フランス国、60000・アロンヌ(番地なし)

(72) 発明者 パトリック・ビヤンエメ

フランス国、60112・ミリー／テレン、ト
ワスルー、リュ・ドウ・ラ・ギヤール、38

(74) 代理人 100062007

弁理士 川口 義雄 (外2名)

(54) 【発明の名称】 ケース型包装体、およびこのような包装体を形成するための長い素板、ならびに品物を包み込む
このような包装体で形成されたアセンブリ

(57) 【要約】

【課題】 ヨーグルトポットまたはコンポートポットの
パッケージに適用され、前面の寸法を可能な限り大きく
でき、包装体に使用される素板の面積を縮減できる包装
体を提供する。

【解決手段】 本発明による包装体(3)は、前壁(1
3)と後壁(14)と、これらの前壁と後壁との間を連
結している上端壁(15)と下端壁(16)とを含み、
前壁の高さ(H)が後壁の高さ(h)よりも高いととも
に、端壁のうちの1つ(16)が、少なくとも1つの傾
斜部分(23)と、後壁に近い品物を受容する少なくと
も1つの後開口部(24)とを有する。

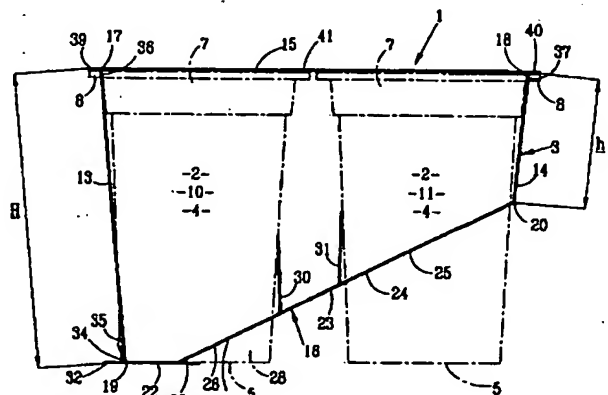


FIG. 2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器などの少なくとも2つの品物(2)からなるグループを包み込むためのケース型包装体

(3)であって、前壁(13)と後壁(14)と、これらの前壁(13)と後壁(14)との間を連結している上端壁(15)と下端壁(16)とを含み、前壁の高さ(H)が後壁の高さ(h)よりも高いとともに、端壁のうちの1つ(16)が、少なくとも1つの傾斜部分(23)と、後壁に近い品物を受容する少なくとも1つの後開口部(24)とを有することを特徴とする包装体。

【請求項2】 少なくとも2つの品物が列をなして配置され、前記端壁(16)が、前壁に近い少なくとも1つの品物(2)を保持する保持手段(22、26)を含み、これらの保持手段が、1つまたは複数の後開口部(24)のレベルと異なるレベルに位置するように備えられていることを特徴とする請求項1に記載の包装体。

【請求項3】 保持手段が、前壁(13)に近い品物の一部を受容する少なくとも1つの前開口部(26)を含むことを特徴とする請求項2に記載の包装体。

【請求項4】 各前開口部(26)および/または各後開口部(24)が、前記端壁(16)の傾斜部分(23)に設けられることを特徴とする請求項1から3のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項5】 前記端壁が、品物を保持する内側フラップ(30、31)を含むことを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項6】 品物が先細部分(4)を備え、各前開口部(26)および/または後開口部(24)が、対応する品物の先細部分(4)を受容するのに供せられるとともに、この先細部分を保持するのに適した形状の輪郭(25、27)を有することを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項7】 前記端壁が、下端壁(16)であることを特徴とする請求項1から6のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項8】 保持手段が、1つまたは複数の対応する品物の下に水平に位置づけられるように備えられている下端壁(16)の一部(22)によって形成された品物支持体を含むことを特徴とする請求項2および7に記載の包装体。

【請求項9】 品物が端縁(8)を備え、これらの端縁を受容し保持する開口部(36、37)が、包装体の前壁(13)および/または後壁(14)に設けられることを特徴とする請求項1から8のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項10】 前壁(13)が、品物(2)のグループのほぼ全高にわたって延在するように備えられていることを特徴とする請求項1から9のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項11】 後壁の高さ(h)が最小限である、ま

たゼロでさえもあることを特徴とする請求項1から10のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項12】 請求項1から11のいずれか一項に記載の包装体を形成するための長い素板(50)であって、包装体(3)の前壁(13)、後壁(14)、上端壁(15)および下端壁(16)を形成するのに供せられる連続パネル(51~56)を含むとともに、前壁(13)を形成するのに供せられるパネル(52)の長さが、後壁(14)を形成するのに供せられるパネル(55)の長さよりも長いことを特徴とする素板(50)。

【請求項13】 前記端壁(16)の傾斜部分(23)を形成するのに供せられるパネル(54)が、形成された包装体(3)においてこの傾斜部分(23)の傾きに適した形状の品物を受容する開口部(64、72)を有することを特徴とする請求項12に記載の素板。

【請求項14】 容器などの少なくとも2つの品物(2)からなるグループと、その品物のグループを包み込む請求項1から11のいずれか一項に記載の包装体(3)とを含むアセンブリ(1)。

【請求項15】 品物(2)のうちの少なくとも2つが、列をなして配置されることを特徴とする請求項14に記載のアセンブリ。

【請求項16】 品物のグループが、前列(10)の品物(2)と後列(11)の品物(2)とを含むことを特徴とする請求項15に記載のアセンブリ。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、容器などの少なくとも2つの品物からなるグループを包み込むためのケース型包装体に関する。この包装体は、前壁と後壁と、これらの前壁と後壁との間を連結している上端壁と下端壁とを含む。

【0002】本発明は、たとえば、一般に先細形状のヨーグルトポットまたはコンポートポットのパッケージに適用される。

【0003】

【従来の技術】このような包装体は、一般に、ほぼ長方形の断面をしたケース形状を有しており、対応するポットのグループを全面的に包み込む。ポットは、このような包装体によって、ひとまとめにした状態に保たれることができる。

【0004】このような包装体は、一般に、あらかじめ切断され、溝をつけられたボール紙素板から形成され、折り曲げられ、貼り合わされる。使用されるボール紙の量は、このような包装体のコストの大きな部分を占めている。したがって、コスト節減のために、これらの包装体の寸法、特に前壁および後壁の高さは縮減される傾向がある。

【0005】ところで、このような包装体の前壁は、包

装体によって包み込まれたポットの中に入っている製品のメーカーや種類を、消費者が確認できるように、店の陳列棚の前方に置かれるように仕向けられた情報媒体を形成している。

【0006】ヨーグルトまたはコンポートの製造者は、この前面に掲載されている情報をできるだけよく見えるようにするために、前面の寸法を、したがって高さを可能な限り高くすることを必要としている。

【0007】つまり、この制約は、使用される素板の面積の縮減に、したがって包装体のコストの節減に相反している。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、これらの2つの制約を、すなわち包装体のコストの節減と、満足の得られる寸法をもつ前壁の提供とを両立させることができる包装体を提案することによって、この問題を解決することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】そのために、本発明は、容器などの少なくとも2つの品物からなるグループを包み込むためのケース型包装体であって、前壁と後壁と、これらの前壁と後壁との間を連結している上端壁と下端壁とを含み、前壁の高さが後壁の高さよりも大きいとともに、端壁のうちの1つが、少なくとも1つの傾斜部分と、後壁に近い品物を受容する少なくとも1つの後開口部とを有することを特徴とする包装体を目的とする。

【0010】様々な具体的な実施形態によれば、包装体は、次のような1つまたは複数の特徴を、個別的に、あるいは技術的に可能なすべての組み合わせに応じて具備することができる。

【0011】— 品物は列をなして配置され、前記端壁は、前壁に近い少なくとも1つの品物と協働する協働手段を含み、これらの協働手段は、1つまたは複数の後開口部のレベルと異なるレベルに位置するように備えられている。

【0012】— 協働手段は、前壁に近い品物の一部を受容する少なくとも1つの前開口部を含む。

【0013】— 各前開口部および／または各後開口部は、前記端壁の傾斜部分に設けられる。

【0014】— 前記端壁は、品物を保持する内側フラップを含む。

【0015】— 品物は先細部分を備え、各前開口部および／または各後開口部は、対応する品物の先細部分を受容するのに供せられるとともに、この先細部分を保持するのに適した形状の輪郭を有する。

【0016】— 前記端壁は、下端壁である。

【0017】— 協働手段は、1つまたは複数の対応する品物の下に水平に位置づけられるように備えられている下端壁の一部によって形成された品物支持体を含む。

【0018】— 品物は端縁を備え、これらの端縁を受

容し保持する開口部は、包装体の前壁および／または後壁に設けられる。

【0019】— 前壁は、品物のグループのほぼ全高にわたって延在するように備えられている。

【0020】— 後壁の高さは、最小限である、またゼロでさえもある。

【0021】また本発明は、上記で規定された包装体を形成するための長い素板であって、包装体の前壁、後壁、上端壁および下端壁を形成するのに供せられる連続パネルを含むとともに、前壁を形成するのに供せられるパネルの長さが、後壁を形成するのに供せられるパネルの長さよりも長いことを特徴とする素板も目的とする。

【0022】変形形態によれば、前記端壁の傾斜部分を形成するのに供せられるパネルは、形成された包装体においてこの傾斜部分の傾きに適した形状の品物を受容する開口部を有する。

【0023】最後に本発明は、容器などの少なくとも2つの品物からなるグループと、その品物グループを包み込む上記で規定された包装体とを含むアセンブリも目的とする。

【0024】本発明は、添付の図を参照しながら、例としてのみ示されている以下の説明を読むことによって、より良く理解されるであろう。

【0025】

【発明の実施の形態】以下の説明全体において、使用される用語、特に「上方」、「下方」、「下」および「上」という用語は、包装体と、一般に水平な面上に底を下にして設置されるヨーグルトポットとのアセンブリについてのものであると解釈される。

【0026】図1および図2は、4つのヨーグルトまたはコンポートポット2からなるグループと、ポット2を包み込むケース型の包装体3とを含むアセンブリ1を示している。より明確には、ポット2は鎖線で示されており、これらのポットのうちの2つは、図1には完全には表示されていない。

【0027】ヨーグルトポット2は、同一であり、それぞれポット2の底5に向かって先細りの円錐台形部分4を有する。

【0028】各ポット2は、その上端7の部位において、一般にふたで覆われた縁8で終わる。4つのポット2は、列をなして配置された2つのポットの2列、すなわち前列10および後列11にひとまとめにされる。

【0029】包装体3は、前壁13（図1および図2の左側）と、後壁14と、上壁15と、下壁16とを含む。

【0030】前壁13は、ポット2のグループの高さと幅よりもそれぞれ多少大きい高さで幅にわたって、前列10の前に延在する。

【0031】上壁15は、前壁13の上端17から後壁14の上端18まで、すべてのヨーグルトポット2の上

を通過して延在する。

【0032】下壁16は、前壁13の下端19から後壁14の下端20まで延在する。

【0033】前壁13と後壁14は、相互に向かって多少先細りになりながら、下方に延在する。

【0034】後壁14は、前壁13の高さHよりも明らかに小さい高さhを有する。

【0035】したがって、後壁14の下端20は、前壁13の下端19のレベルよりも明らかに高いレベルに位置する。

【0036】下壁16は、前壁13の下端19から、前列10のポット2の底5の下に位置している水平部分22と、次に、包装体3の後方に向かって上方に傾斜しており、後壁14の下端20に至る部分23とを含む。

【0037】傾斜部分23は、一般に楕円の形をした輪郭25を有する2つの同一の後開口部24を含む。各開口部24は、後列11のポット2の円錐台形ボディ4を受容する。輪郭25の形状は、これらの輪郭が対応するボディ4の周囲にフィットすることによって、ボディ4をブロック状態に保持するように適応化される。

【0038】また傾斜部分23は、一般に楕円弧の形をした輪郭27を有する2つの同一の前開口部26も含む。各開口部26は、前列10のポット2の円錐台形ボディ4の後部28を受容する。

【0039】輪郭27の形状は、これらの輪郭が対応するボディ4の周囲にフィットすることによってボディ4をブロック状態に保持するように適応化される。

【0040】さらに下壁16の傾斜部分23は、前開口部26または後開口部24にそれぞれ結びついた、長方形の前フラップ30または後フラップ31も含む。各フラップ30は、後方へ少しずれている輪郭27の領域からほぼ垂直に延在する。同様に各フラップ31も、前方へ少しずれている輪郭25の領域からほぼ垂直に延在する。

【0041】2つのフラップ30は、それぞれ列10のポット2のボディ4に沿って、このボディ4に寄りかかりながら延在する。

【0042】同様に2つのフラップ31も、それぞれ列11のポット2のボディ4に沿って、このボディ4に寄りかかりながら延在する。

【0043】下壁16の水平部分22は、列10のポット2の各底5の部位において、部分22と前列10のポット2の底5との接触面積を増やすように、ディスクセグメントからなる前延長部32と、ほぼ台形の後延長部33とを含む。

【0044】前壁13は、列10の各ポット2について、ポット2の底5の前領域を受容する1つの開口部34を含む。この開口部34は、対応する底5を保持する2つの三角形の突起部35で縁どりされる。

【0045】また前壁13は、列10の各ポット2につ

いて、対応するポット2の縁8を受容、保持するほぼ水平な開口部36も含む。

【0046】同様に後壁14も、後列11のポット2の縁8を受容し保持する2つのほぼ水平な開口部37を含む。

【0047】最後に上壁15は、開口部36および37に受容された縁8の領域を覆うために、開口部36および37と同じ高さにある長方形の前延長部39と後延長部40とを含む。

【0048】2つの円弧状の凹部41が、上壁15の両側に設けられる。

【0049】図3は、折り曲げることによって包装体3を形成することができる、長いボール紙素板50、すなわち素材を示している。この図において、折り曲げ線は点線で、切断線は太線で表されている。

【0050】この素板50は、互いに連結された、6つのほぼ長方形のパネル51～56を順次含む。

【0051】パネル52は前壁13に、パネル53は下壁16の水平部分22に、パネル54は下壁16の傾斜部分23に、そしてパネル55は後壁14に対応している。

【0052】パネル52の長さ（高さHに対応している）は、パネル55の長さ（高さhに対応している）よりも長い。

【0053】長さの短いパネル56はパネル51の糊づけフラップであり、この糊づけフラップは、上壁15を形成するパネル51によって事実上覆われるためのものである。

【0054】2つの直線スリット57が、パネル51とパネル52とをつなげている不連続な横折り曲げ線58の近くに、この折り曲げ線58に平行してパネル52に形成される。

【0055】各スリット57は、折り曲げ線58に至る曲線端で終わる。ほぼ長方形のくりぬき部分59が、パネル51とパネル52とをつなげている不連続な横折り曲げ線58の片側において、各スリット57の中央部分のヘリに設けられる。

【0056】各スリット57は、素材50の折り曲げの際に、一方において上壁15の延長部39を画定するのに、また他方において、対応するくりぬき部分59とともに前壁13の対応する開口部36を画定するのに供せられる。

【0057】パネル52は、折り曲げ線60の近くに形成され、この折り曲げ線60に至る円弧状の2つのスリット61を有する。各スリット61は、その中央部分において、素材50の長手軸に平行なスリット62によって延長される。また2つの斜めスリット63が、各スリット62の両側において、対応するスリット61の各端に向かって延びる。

【0058】素材50の折り曲げ後、各スリット61

は、下壁 16 の前延長部 32 と前壁 13 の対応する開口部 34 を画定するのに、また対応するスリット 62 および 63 とともに前壁 13 の対応する三角形の保持突起部を画定するのに供せられる。

【0059】2対の細長いくくりぬき部分 64 が、パネル 53 とパネル 54 とをつなげている不連続な横折り曲げ線 65 の近くにてパネル 54 に設けられる。

【0060】1つの同じ対のくりぬき部分 64 は、一方において、素板 50 の長手軸に対して横方向の直線スリット 66 によって相互につながられ、また他方において、素板 50 の長手軸に対して長手方向のスリット 67 によってそれぞれ延長される。各対のくりぬき部分 64 について、これらのくりぬき部分 64 とスリット 66 および 67 は、折り曲げ線 69 によってパネル 54 のその他の部分につながられている長方形の面 68 を画定するとともに、パネル 53 につながられている台形の面 70 を画定する。

【0061】各対のくりぬき部分 64 について、くりぬき部分 64 は、形成された梱包体 3 の下壁 16 の前開口部 26 を画定するのに供される。対応する面 68 および 70 は、下壁 16 の対応するフラップ 30 と、壁 16 の部分 22 の対応する後延長部 33 とをそれぞれ形成するのに供せられる。

【0062】同様にパネル 54 も、2つのくりぬき部分 72 を有する。これらのくりぬき部分 72 の輪郭は、主として楕円に相当している。各くりぬき部分 72 は、素板 50 の長手軸に平行な 2つの直線スリット 73 によって延長される。これらのスリット 73 は、折り曲げ線 75 によってパネル 54 にそれぞれつながられている 2つの長方形の面 74 を部分的に画定する。各面 74 は、対応するくりぬき部分 72 内に部分的に延在する。

【0063】くりぬき部分 72 は、下壁 16 の後開口部 24 を形成するのに供せられ、面 74 は、対応するフラップ 31 を形成するのに供せられる。

【0064】くりぬき部分 72 の形状ならびにくりぬき部分 64 の形状は、一方において、壁 16 の部分 23 を形成するためにパネル 54 が取る傾きに適応化されるとともに、また他方において、ポット 2 の形状に適応化される。

【0065】2つの直線スリット 76 が、パネル 55 とパネル 56 とをつなげている不連続な横折り曲げ線 77 の近くに、この折り曲げ線 77 に平行してパネル 55 に形成される。これらのスリット 76 は折り曲げ線 77 に至る曲線端で終わる。

【0066】2つの円弧状の切り込み部分 78 が、パネル 51 の両側に各々形成される。これらの切り込み部分 78 は、包装体 3 の上壁 15 の凹部 41 を形成するのに供される。

【0067】図 1 の包装体 3 を形成するには、ポット 2 を素板 50 で包み込み、そしてパネル 51 をパネル 56

に貼り付ける。これらの 2つのパネル 51 および 56 の一体化は、知られているあらゆる他の方法で確保されることもできる。

【0068】このようにして形成された包装体 3 は、特にポット 2 のボディ 4 と、開口部 24 および 26 の輪郭 25 および 27 との一体となった形状のおかげで、またフラップ 30 および 31 ののおかげで、さらには下壁 16 の水平部分 22 とその延長部 32 および 33 のおかげで、またさらには前壁 13 および後壁 14 の開口部 36 および 37 のおかげで、そして上壁 15 のおかげで、ポット 2 の満足の得られる保持を確保する。

【0069】指摘しておくべきことであるが、下壁 16 は、この下壁 16 が前列 10 のポット 2 と協働するレベルよりも高いレベルにおいて、後列 11 のポット 2 と協働する。

【0070】凹部 41 は、包装体 3 をつかみやすくするのに役立つ。図示されていない変形形態によれば、これらの凹部 41 は、穴などの他の同等の手段に置き換えられることができる。

【0071】前面 13 は、ポット 2 のグループの全高および全幅にわたって延在する。したがって、この前面 13 は、情報媒体として利用可能な最大限の面積を提供する。

【0072】しかも、包装体 3 の外形の形状が非対称であることによって、すなわち後壁 14 の高さが小さいことと、下壁 16 が傾斜部分 23 を有していることによって、使用される素板 50 の総面積を縮減することができる。

【0073】つまり、前壁 13 の寸法が等しいならば、使用される素板 50 の面積は、ヨーグルトポットのグループを全面的に包み込む対称部分の包装体を形成するのに供せられる素板の面積よりも明らかに小さくすむ。

【0074】図示されていない変形形態によれば、後壁 14 の高さは、非常に小さくすることができる、またゼ口にさえもすることができる。

【0075】本発明は、当然のことながら、あらゆる種類の品物、特に容器のパッケージに適用されることができる。勿論、本発明は可変数の品物のグループ、たとえば 2×3 あるいは 2×4 等の品物からなるグループをパッケージすることを可能にする。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明による包装体によって包み込まれたヨーグルトポットを含むアセンブリの概略的な透視図である。

【図 2】図 1 のアセンブリの概略側面図である。

【図 3】図 1 の包装体を形成することを可能にする素板の平面図である。

【符号の説明】

- 1 アセンブリ
- 2 ポット

- 3 包装体
- 4 ポットのボディ
- 5 ポットの底
- 7 ポットの上端
- 8 ポットの端縁
- 10 前列
- 11 後列
- 13 前壁
- 14 後壁
- 15 上壁
- 16 下壁
- 17 前壁の上端
- 18 後壁の上端
- 19 前壁の下端
- 20 後壁の下端
- 22 下壁の水平部分
- 23 下壁の傾斜部分

- 24 後開口部
- 25 後開口部の輪郭
- 26 前開口部
- 27 前開口部の輪郭
- 30 前フラップ
- 31 後フラップ
- 32 前延長部
- 33 後延長部
- 34 前壁の開口部
- 35 三角形の突起部
- 36 前壁の開口部
- 37 後壁の開口部
- 39 上壁の前延長部
- 40 上壁の後延長部
- H 前壁の高さ
- h 後壁の高さ

【図1】

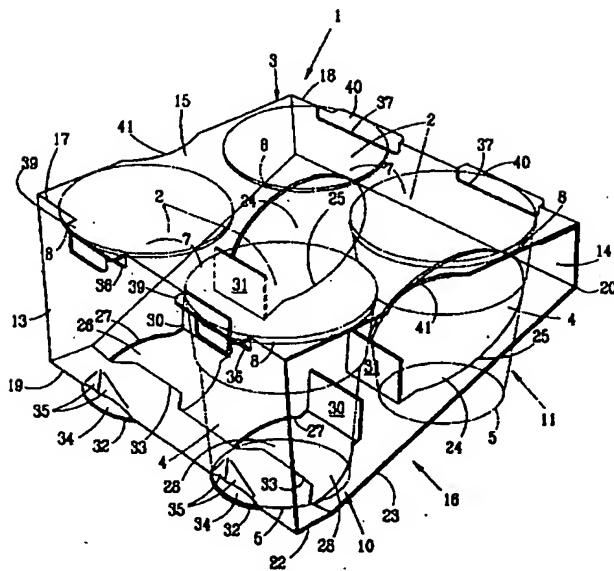


FIG.1

【図2】

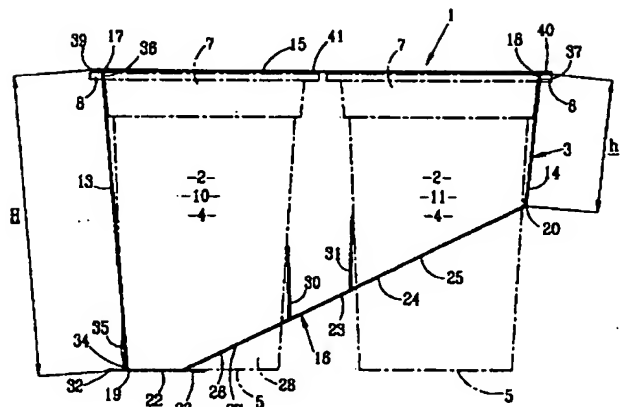


FIG.2

【図 3】

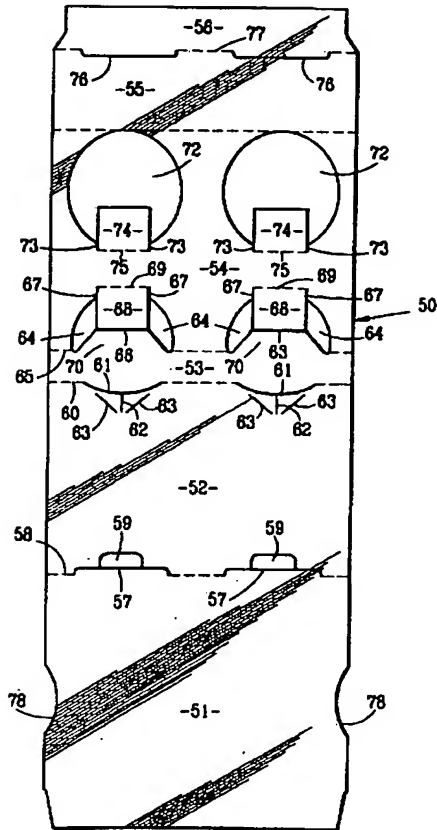


FIG. 3